

2025（令和7）年1月24日

新型コロナワクチン接種後の遷延する症状に係る 実態の追加・追跡調査について （第一報）

※ 本資料は、2024年10月10日までに得られた本調査結果を報告するための第一報であり、疑義照会のある調査結果を集計対象外としている。
なお、2024年10月11日以降に得られた本調査結果及び疑義照会を含め、今後第二報として報告する予定である。

資料内容

1. 今回の実態調査の概要等について
2. 事務的調査票（地域医療連携室宛）の結果について
3. 医学的調査票（医師宛）の結果について
 - 全体の状況（症例数、症例背景等）について
 - 症状について
 - 主な症状について
 - 接種後から症状が出現又は悪化するまでの期間について
 - 症状の持続期間について
 - 検査内容、治療内容、病名、転帰について
4. 今回の実態調査の総括
5. 参考資料

資料内容

1. 今回の実態調査の概要等について
2. 事務的調査票（地域医療連携室宛）の結果について
3. 医学的調査票（医師宛）の結果について
 - 全体の状況（症例数、症例背景）について
 - 症状について
 - 主な症状について
 - 接種後から症状が出現又は悪化するまでの期間について
 - 症状の持続期間について
 - 検査内容、治療内容、病名、転帰について
4. 今回の実態調査の総括
5. 参考資料

新型コロナウイルスワクチン接種後の遷延する症状に係る実態の追加・追跡調査（概要）

特例臨時接種終了・定期接種化を見据えた国産新型コロナウイルスワクチンを含むコホート調査（分担研究班）

背景

新型コロナウイルスワクチンの接種により新型コロナウイルスによる重症例は減ったものの、世間ではワクチン接種後の遷延する症状があるのではないかという意見が散見されるが、その実態は不明である。そのため、新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応を疑う症状について、遷延する症状も含め、実態の把握を行うことを目的に評価を行うこととした。

目的

ワクチンとの因果関係の有無にかかわらず、ワクチン接種後の症状を訴え専門的な医療機関を受診した者の実態を収集、把握し、得られた知見について必要な情報提供等を行うことを目的とする。

調査方法

【調査の方針】

本調査は、受診実態の把握を目的とした記述的な評価（※）を行うこととし、ワクチン接種後の症状を呈した患者が受診した専門的な医療機関に対して調査票を送付し、症例に関する情報を収集・分析することとした。また、昨年度の調査（「新型コロナウイルスワクチン接種後の遷延する症状に関する実態調査」）において報告された症状のうち、転帰が不明である症例については、その後の経過を収集することとした。

※ワクチンとの因果関係を問わず行う調査。

【調査対象】

全国の都道府県において、自治体やかかりつけ医等の紹介によりワクチン接種後に副反応を疑う症状を専門的見地から診療する約360の専門的な医療機関が整備されている。このうち「本調査への協力が可能」との回答が得られた136の医療機関を調査対象とした。

【調査方法】

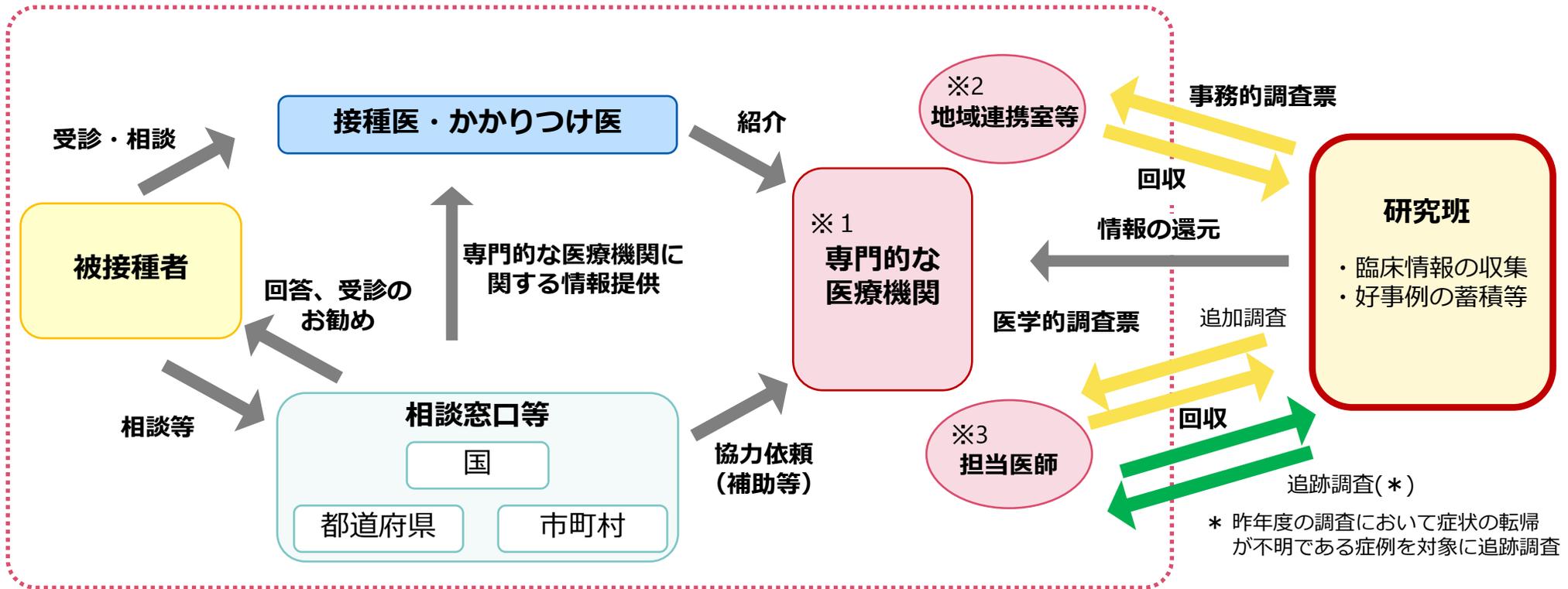
以下の2種類の調査票を作成し、調査を行った。調査対象者は、令和4年6月1日から令和6年5月31日までに受診した者とした。

- ① 事務的調査票：性別・年齢・受診した診療科等の受診状況の全体像を把握することを目的に、地域連携室宛に送付。
- ② 医学的調査票：症状や診断や治療の結果明らかとなった病名等医学的な内容を把握することを目的に、医師宛に送付。
- ③ 令和6年8月30日より調査票を送付し、令和6年10月10日までに回答があった報告を評価対象とした。（疑義照会ありを除く）

【主な調査項目】

事務的調査票（地域連携室宛）	医学的調査票（医師宛）
発症日、当該症状に係る初診日、当該症状に係る初診日以降の診療科、当該症状に係る初診日以前の診療科、直近の受診状況 等	受診のきっかけとなった症状、当該症状の発現日、ワクチン接種の状況、基礎疾患、当該症状にかかる病名、検査、治療内容、転帰、症状の持続期間、日常生活・就労・就学への影響、経過の概要 等

新型コロナウイルスワクチン接種後の遷延する症状に係る実態の追加・追跡調査のイメージ図



- ※1 全国の都道府県において、自治体やかかりつけ医等の紹介により、新型コロナウイルスワクチン接種後に副反応を疑う症状を専門的見地から診療する約360の医療機関を整備。この専門的医療機関のうち、事前に調査への協力が可能との回答が得られた136の医療機関を調査対象。被接種者が専門的な医療機関を直接受診する可能性もある。
- ※2 専門的な医療機関の受診状況の全体像を把握するために、事務的調査票を地域連携室等宛に送付。
- ※3 医学的な内容を把握するために、医学的調査票を担当医師宛に送付（追加調査及び追跡調査）。

新型コロナウイルスワクチン接種後の遷延する症状に係る実態の追加・追跡調査結果の概要

全国の専門的な医療機関
(凡そ360医療機関)



事前に調査・研究に協力の同意を得られた専門的な医療機関等^(注)
(当初、136医療機関)

※42の回答施設のうち、6施設が回答を辞退し、36施設から回答あり (2024/10/10時点)

地域連携室等から得られた回答数
(42医療機関)

担当医師から得られた回答数
(8医療機関)

106症例

該当症例なしとの回答があった医療機関
(27医療機関)

該当症例ありと回答があった医療機関
(9医療機関)

105症例

	事前に調査・研究に協力の同意を得られた医療機関数	地域医療連携室から回答が得られた医療機関数*	担当医師から回答が得られた医療機関数
北海道・東北地方	33	1+6	0
関東地方	13	0+1	1
中部地方	17	2+2	3
近畿地方	25	3+5	2
中国・四国地方	37	1+9	1
九州地方 沖縄	12	2+4	1

*地域医療連携室から回答が得られた医療機関数は、前者が該当症例ありの医療機関数、後者が該当症例なしの医療機関数 (2024年10月10日時点)

(注) 一部に当初、調査・研究に協力の同意を得られていなかったが、研究期間中に同意が得られ、協力のあった医療機関を含む。

新型コロナウイルスワクチン接種後の遷延する症状に係る実態調査 (昨年度調査・今回の調査)

調査の実施		昨年度調査（2023年）	今回の調査（2024年）
全国の専門的な医療機関		凡そ470施設	凡そ360施設
事前に協力の同意を得た医療機関		193施設	136施設
	該当者なし	40施設	27施設
	参加辞退	12施設	6施設
地域連携室（症例数）		29施設（268例）	9施設（105例）
担当医師（症例数）		27施設（212例）	8施設（106例）

（注）今回の調査については、2024年10月10日時点のもの

集計結果（第一報）の概要

【地域連携室】

※ 集計対象：疑義照会のない施設/症例

	第一報	集計対象
回答期間	2024年8月30日～10月10日	
回答施設数(施設)	8	7
回答症例数(症例)	105	70

【医師】

	第一報	集計対象
回答期間	2024年8月30日～10月10日	
回答施設数(施設)	8	2
回答症例数(症例)	106	10

資料内容

1. 今回の実態調査の概要等について
2. 事務的調査票（地域医療連携室宛）の結果について
3. 医学的調査票（医師宛）の結果について
 - 全体の状況（症例数、症例背景）について
 - 症状について
 - 主な症状について
 - 接種後から症状が出現又は悪化するまでの期間について
 - 症状の持続期間について
 - 検査内容、治療内容、病名、転帰について
4. 今回の実態調査の総括
5. 参考資料

地域連携室宛に送付した事務的調査票の回答の全体の状況

(地域連携室宛調査)

<回答依頼施設数、回答施設数、症例数>

回答依頼施設数	回答施設数	該当症例あり施設		該当症例なし施設数	辞退施設数
		回答施設数	回答症例数		
136施設	42施設	9施設	105症例	27施設	6施設
	うち集計対象	7施設	70症例		

<年齢、性別内訳>

※小数点以下第2位四捨五入

性別	男性	32	45.7%	女性	38	54.3%	合計	70
		0～9歳	0	0.0%	0～9歳	0	0.0%	合計
	10～19歳	1	1.4%	10～19歳	4	5.7%	合計	5
	20～29歳	5	7.1%	20～29歳	2	2.9%	合計	7
	30～39歳	2	2.9%	30～39歳	2	2.9%	合計	4
	40～49歳	4	5.7%	40～49歳	5	7.1%	合計	9
	50～59歳	2	2.9%	50～59歳	6	8.6%	合計	8
	60～69歳	6	8.6%	60～69歳	4	5.7%	合計	10
	70～79歳	9	12.8%	70～79歳	8	11.4%	合計	17
	80～89歳	1	1.4%	80～89歳	7	10.0%	合計	8
	90～99歳	2	2.9%	90～99歳	0	0%	合計	2

※事務的調査にあたっては、当該施設の「新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応を疑う患者の紹介に対応する窓口」に紹介があり、令和4年（2022年）6月1日から令和6年（2024年）5月31日までに受診した全患者をリストとし、それぞれの患者さんについて事務的な回答を依頼しているものであり、医学的な回答を求めている。

それぞれの患者において最も受診回数が多い診療科

(地域連携室宛調査)

総合内科	37
総合診療科	15
呼吸器内科	9
脳神経内科	3
麻酔科	3
皮膚科	2
整形外科	1
合計	70

症状発症日及びワクチン接種後の症状について当該医療機関を受診した初診日

(地域連携室宛調査)

<症状発症日>

	2021年	2022年	2023年
1月	0人	1人	1人
2月	0人	2人	0人
3月	0人	4人	2人
4月	0人	3人	0人
5月	0人	6人	3人
6月	0人	5人	3人
7月	0人	7人	1人
8月	2人	3人	0人
9月	1人	3人	0人
10月	3人	4人	0人
11月	1人	5人	1人
12月	0人	8人	1人

<初診日>

	2022年	2023年	2024年
1月	対象期間外	4人	0人
2月		1人	0人
3月		5人	0人
4月		0人	1人
5月		3人	0人
6月	5人	9人	対象期間外
7月	9人	0人	
8月	4人	2人	
9月	3人	0人	
10月	6人	0人	
11月	10人	0人	
12月	7人	1人	

発症日からワクチン接種後の症状について当該医療機関を初回 受診するまでの期間

(地域連携室宛調査)

日数	人数
0	2
1	1
2	3
3	0
4	0
5	1
6	0
7	1
8	2
9	2
10	3
11	0
12	0
13	2
14	0
15	0
16	1
17	1
18	1
19	0
20	0
21	1
22	0
23	1
24	0
25	1
26	0
27	0

日数	人数
28	0
29	1
30	0
31	1
33	1
35	1
37	2
40	0
44	1
47	1
50	1
56	1
60	0
65	1
66	1
70	1
74	1
80	1
90	0
94	1
96	1
100	0
101	2
102	1
104	1
108	1
115	1
121	1

日数	人数
149	1
154	1
159	1
162	1
181	1
187	1
213	1
216	1
226	1
229	1
241	1
244	2
254	1
301	1
319	1
329	1
332	1
347	1
358	1
408	1
444	1
724	1

日数	人数
0～7日	8
8～30日	16
31～60日	9
61～90日	5
91～365日	29
366日以上	3
不明	0
合計	70

地域連携室からの調査報告のまとめ

(地域連携室宛調査)

- 前回同様に女性での報告が男性よりも多いが、前回より高齢での報告割合が高く、年代別の接種者数を考慮する必要がある。
- 受診した診療科は、総合内科及び総合診療科の割合が高かった。
- 患者の受診人数は、2022年から2024年にかけて減少傾向にある。
- ワクチン接種後1か月以内の発症事例の割合は、前回から低下している（0～7日が43%から11.4%、8～30日が30.2%から22.9%に低下）

※本調査では、診断とワクチン接種との因果関係は評価できない点に留意を要する。

資料内容

1. 今回の実態調査の概要等について
2. 事務的調査票（地域医療連携室宛）の結果について
3. 医学的調査票（医師宛）の結果について
 - 全体の状況（症例数、症例背景）について
 - 症状について
 - 主な症状について
 - 接種後から症状が出現又は悪化するまでの期間について
 - 症状の持続期間について
 - 検査内容、治療内容、病名、転帰について
4. 今回の実態調査の総括
5. 参考資料

資料内容

1. 今回の実態調査の概要等について
2. 事務的調査票（地域医療連携室宛）の結果について
3. 医学的調査票（医師宛）の結果について
 - 全体の状況（症例数、症例背景）について
 - 症状について
 - 主な症状について
 - 接種後から症状が出現又は悪化するまでの期間について
 - 症状の持続期間について
 - 検査内容、治療内容、病名、転帰について
4. 今回の実態調査の総括
5. 参考資料

医師宛に送付した医学的調査票の回答の全体状況

(医師宛調査)

<回答依頼施設数、回答施設数、回答症例数>

依頼施設数	施設数 (該当症例あり施設数)	症例数
136	8(8)	106
うち集計対象	2	10

<年齢、性別内訳>

※小数点以下第2位四捨五入

年齢	男性		女性		合計
	人数	割合	人数	割合	
	5	50.0%	5	50.0%	10
0～9歳	0	0.0%	0	0.0%	0
10～19歳	0	0.0%	2	20.0%	2
20～29歳	2	20.0%	0	0.0%	2
30～39歳	1	10.0%	1	10.0%	2
40～49歳	1	10.0%	0	0.0%	1
50～59歳	0	0.0%	0	0.0%	0
60～69歳	0	0.0%	0	0.0%	0
70～79歳	1	10.0%	1	10.0%	2
80～89歳	0	0.0%	1	10.0%	1
90～99歳	0	0.0%	0	0.0%	0

受診患者のワクチン接種前の基礎疾患と日常生活自立度

(医師宛調査)

<基礎疾患>

基礎疾患の有無	人数	割合
あり	0	0.0%
なし	1	10.0%
不明	9	90.0%
回答なし	0	0.0%
合計	10	100%

※小数点以下第2位四捨五入

<日常生活>

自立度	人数	割合
自立	10	100.0%
一部介助が必要	0	0.0%
介助	0	0.0%
回答なし	0	0.0%
合計	10	100.0%

※小数点以下第2位四捨五入

ワクチン接種後の症状に係る受診状況

(医師宛調査)

<入院の有無>

入院の有無	人数	割合
あり	1	10.0%
なし	9	90.0%
未回答	0	0.0%
合計	10	100.0%

<前医の受診状況>

※小数点以下第2位四捨五入

受診状況	人数	割合
他の医療機関の受診はなく、 当該医療機関を初診医療機関として受診	0	0.0%
他の医療機関受診後に 当該医療機関を受診	1施設	100.0%
	2施設	0.0%
	3施設	0.0%
	未入力	0.0%
不明	0	0.0%
合計	10	100.0%

※小数点以下第2位四捨五入

ワクチン接種後の症状に係る当該医療機関の初診日

(医師宛調査)

受診月	2022年	2023年	2024年
1月	対象期間外	2人	0人
2月		0人	0人
3月		0人	0人
4月		0人	0人
5月		0人	0人
6月	4人	0人	対象期間外
7月	3人	0人	
8月	0人	0人	
9月	0人	0人	
10月	0人	0人	
11月	1人	0人	
12月	0人	0人	
合計	8人	2人	0

今回の症状に影響を及ぼした可能性のあるワクチンの接種時期・接種回数・種類

(医師宛調査)

< 接種時期 >

接種月	2021年	2022年
1月	0人	0人
2月	0人	1人
3月	0人	0人
4月	0人	0人
5月	0人	2人
6月	0人	2人
7月	0人	2人
8月	0人	0人
9月	0人	1人
10月	1人	0人
11月	0人	0人
12月	0人	1人
不明	0人	
合計	10人	

< 接種回数 > ※小数点以下第2位四捨五入

接種回数	人数	割合
1回	0	0.0%
2回	1	10.0%
3回	6	60.0%
4回	2	20.0%
5回	1	10.0%
入力無	0	0.0%
不明	0	0.0%
合計	10	100.0%

< ワクチンの種類 > ※小数点以下第2位四捨五入

ワクチン種類	人数	割合
ファイザー (コミナティ筋注)	5	50.0%
ファイザー(5-11歳用) (コミナティ筋注)	0	0.0%
武田/モデルナ (スパイクバックス筋注)	4	40.0%
不明	1	10.0%
合計	10	100.0%

資料内容

1. 今回の実態調査の概要等について
2. 事務的調査票（地域医療連携室宛）の結果について
3. 医学的調査票（医師宛）の結果について
 - 全体の状況（症例数、症例背景）について
 - 症状について
 - 主な症状について
 - 接種後から症状が出現又は悪化するまでの期間について
 - 症状の持続期間について
 - 検査内容、治療内容、病名、転帰について
4. 今回の実態調査の総括
5. 参考資料

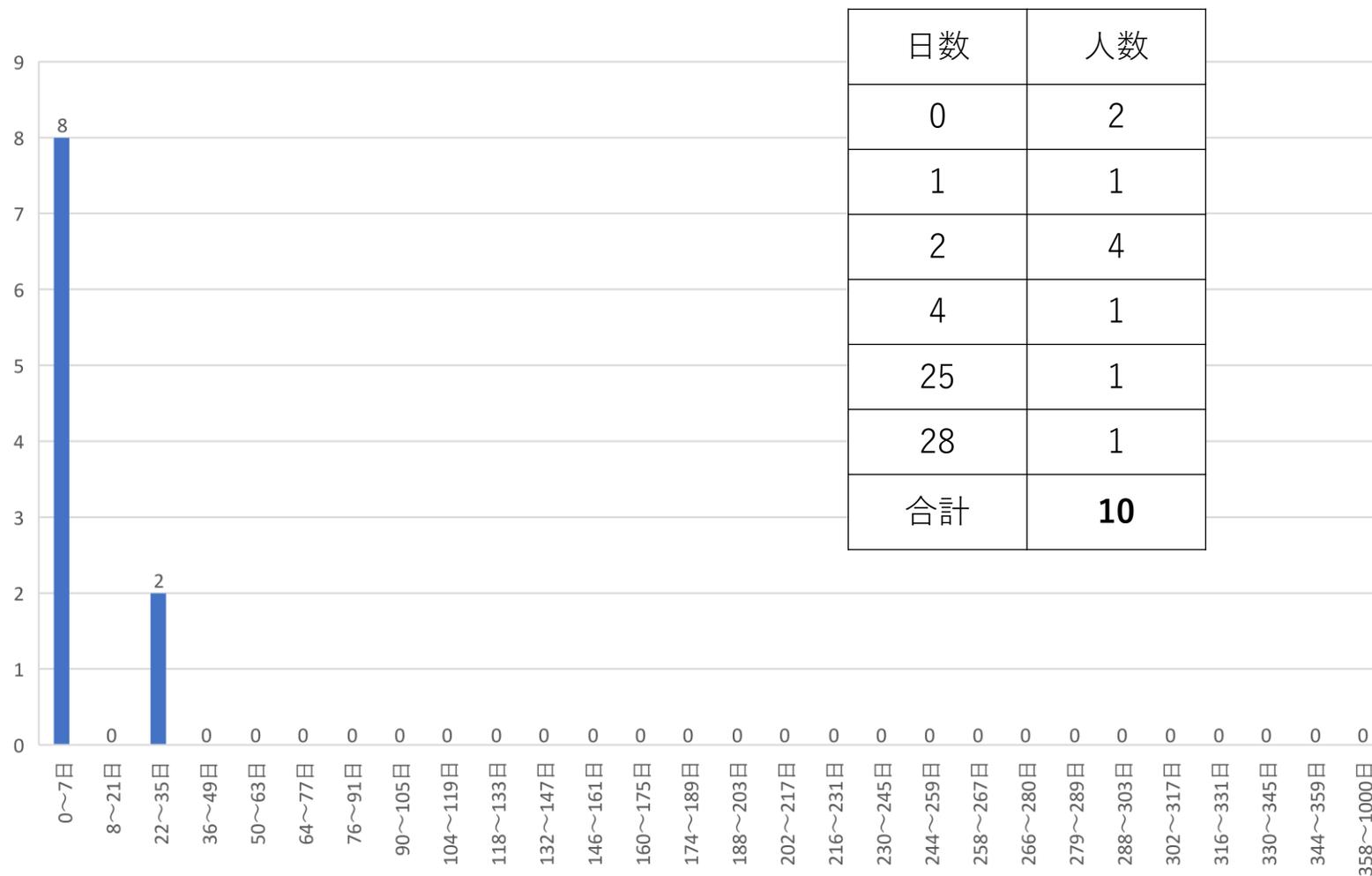
当該医療機関の受診のきっかけとなった症状のうち日常生活を送る上で最も支障を来している主な症状 (医師宛調査)

(複数回答あり、回答のあったすべての症状を集計)

症状	人数
頭痛	3
倦怠感	3
関節痛	3
嘔気・嘔吐	1
息切れ	1
手指しびれ	1
四肢しびれ	1
多汗	1
食思不振	1

ワクチン接種後から当該症状※¹が出現 又は悪化するまでの期間※²

(医師宛調査)



※¹ 受診のきっかけとなった症状のうち、日常生活を送るうえで支障をきたしている症状

※² 1つの症例において複数の症状が報告された場合、ワクチン接種から当該症状の出現・悪化までが最も長かった期間を集計

ワクチン接種後から当該症状*が出現又は悪化するまでの期間が8日以上であった症例

(医師宛調査)

ワクチン接種から症状発現又は悪化までの日数	日数	年齢	性別	症状	転帰	当該症状の持続期間
8～14日	該当なし					

ワクチン接種から症状発現又は悪化までの日数	日数	年齢	性別	症状	転帰	当該症状の持続期間
15～21日	該当なし					

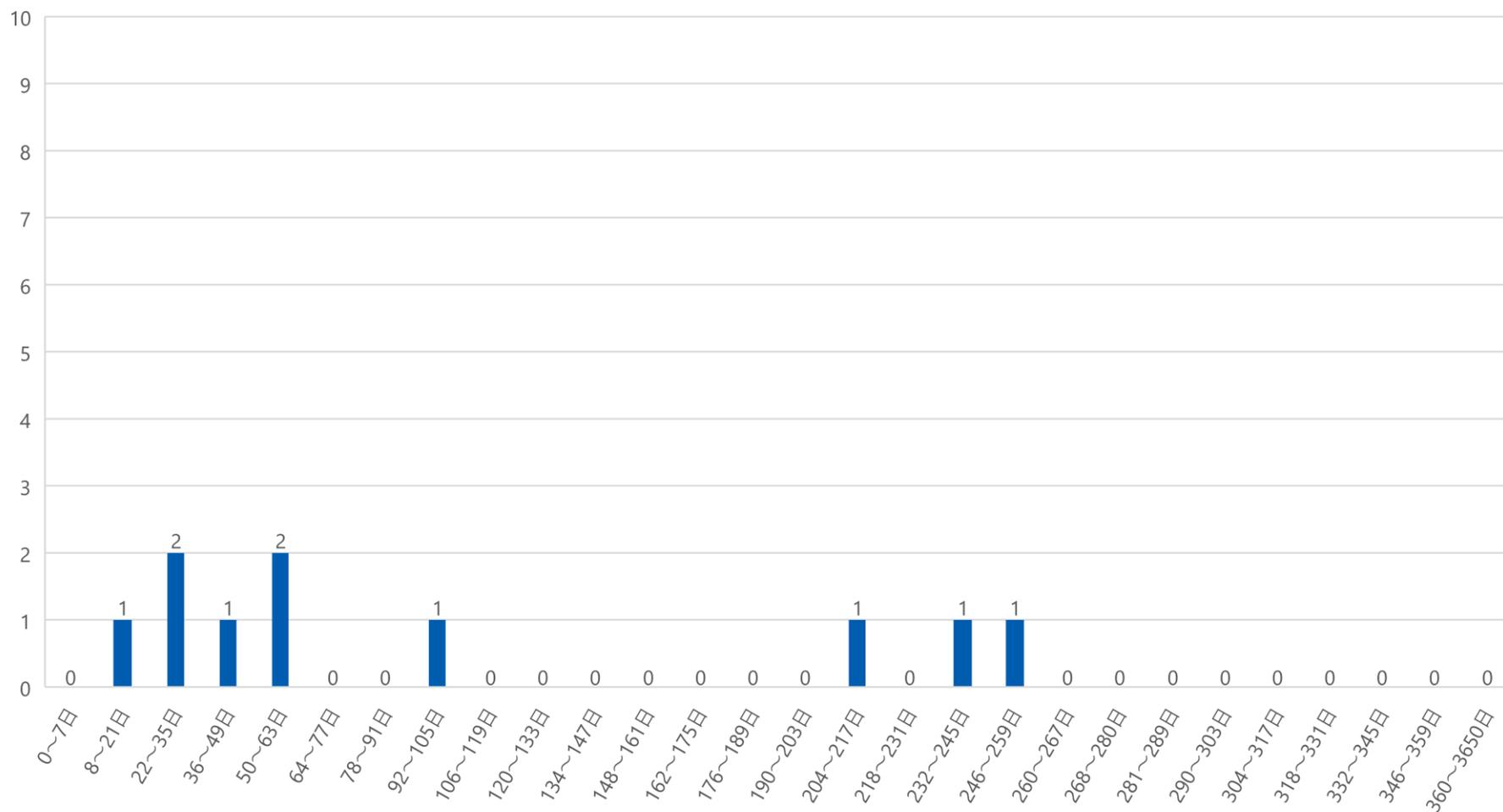
ワクチン接種から症状発現又は悪化までの日数	日数	年齢	性別	症状	転帰	当該症状の持続期間
22～28日	25	37	男性	息切れ、四肢しびれ	回復/軽快	41
	28	45	男性	関節痛	不変	102

ワクチン接種から症状発現又は悪化までの日数	日数	年齢	性別	症状	転帰	当該症状の持続期間
43～70日	該当なし					

* 受診のきっかけとなった症状のうち、日常生活を送るうえで支障をきたしている症状

当該症状※1の持続期間※2について

(医師宛調査)



※1 1つの症例において複数の症状が報告された場合、最も症状の持続期間が長かった症状について集計している。

※2 当該症状の持続期間については、症状が回復している場合は回復までの持続期間を、症状が持続または通院を自己中断している場合は最終受診日までの期間を集計している。

症状の持続期間が31日～60日であった症例

(医師宛調査)

持続期間	日数	年齢	性別	症状	転帰	ワクチン接種から症状発現又は悪化までの日数
31～60日	34	72	男性	関節痛	未回復	2
	35	23	男性	手指しびれ	回復/軽快	2
	41	37	男性	息切れ、四肢しびれ	回復/軽快	25
	53	20	男性	頭痛	回復/軽快	1
	56	13	女性	頭痛	回復/軽快	4

- ※1 1つの症例において複数の症状が報告された場合、最も症状の持続期間が長かった症状について集計している。
- ※2 当該症状の持続期間については、症状が回復している場合は回復までの持続期間を、症状が持続または通院を自己中断している場合は最終受診日までの期間を集計している。

症状の持続期間が61日～120日であった症例

(医師宛調査)

持続期間	日数	年齢	性別	症状	転帰	ワクチン接種から症状発現又は悪化までの日数
61～90日	該当なし					

持続期間	日数	年齢	性別	症状	転帰	ワクチン接種から症状発現又は悪化までの日数
91～120日	102	45	男性	関節痛	未回復	28

- ※ 1 1つの症例において複数の症状が報告された場合、最も症状の持続期間が長かった症状について集計している。
- ※ 2 当該症状の持続期間については、症状が回復している場合は回復までの持続期間を、症状が持続または通院を自己中断している場合は最終受診日までの期間を集計している。

症状の持続期間が121日～365日であった症例

(医師宛調査)

持続期間	日数	年齢	性別	症状	転帰	ワクチン接種から症状発現又は悪化までの日数
121～365日	214	81	女性	倦怠感、多汗、食思不振	回復/軽快	0
	233	70	女性	関節痛	未回復	0
	258	35	女性	倦怠感	回復/軽快	2

- ※1 1つの症例において複数の症状が報告された場合、最も症状の持続期間が長かった症状について集計している。
- ※2 当該症状の持続期間については、症状が回復している場合は回復までの持続期間を、症状が持続または通院を自己中断している場合は最終受診日までの期間を集計している。

症状の持続期間が366日以上であった症例

(医師宛調査)

持続期間	日数	年齢	性別	症状	転帰	ワクチン接種から症状発現又は悪化までの日数
366日以上～				該当なし		

- ※1 1つの症例において複数の症状が報告された場合、最も症状の持続期間が長かった症状について集計している。
- ※2 当該症状の持続期間については、症状が回復している場合は回復までの持続期間を、症状が持続または通院を自己中断している場合は最終受診日までの期間を集計している。

資料内容

1. 今回の実態調査の概要等について
2. 事務的調査票（地域医療連携室宛）の結果について
3. 医学的調査票（医師宛）の結果について
 - 全体の状況（症例数、症例背景）について
 - 症状について
 - 主な症状について
 - 接種後から症状が出現又は悪化するまでの期間について
 - 症状の持続期間について
 - 検査内容、治療内容、病名、転帰について
4. 今回の実態調査の総括
5. 参考資料

ワクチン接種後の症状に対して行われた検査及び検査所見の概要

(医師宛調査)

	実施所見		未実施	未回答
	異常所見あり	異常所見なし		
血液検査	6		4	0
	0	6		
尿検査	2		8	0
	0	2		
髄液検査	0		10	0
	0	0		
心電図検査	3		7	0
	0	3		
超音波検査	0		10	0
	0	0		
脳波	0		10	0
	0	0		
神経電動速度	0		10	0
	0	0		
筋電図	0		10	0
	0	0		
筋生検	0		10	0
	0	0		
単純X線検査	4		6	0
	0	4		
CT	1		9	0
	0	1		
MRI	2		8	0
	0	2		

ワクチン接種後の症状に対して行われた治療内容

(医師宛調査)

<治療内容>

経過観察	6
その他（リハビリ加療）	2
薬剤治療（補液のみも含む）	1
その他（輸液）	1
合計	10

<薬剤治療あり2症例>

補液	1
その他	1

ワクチン接種後の症状に係る確定病名の一覧

(医師宛調査)

ICD-10コード	症例数	確定病名
U12	1	COVID-19ワクチン接種副反応

※上記の病名は、症状とワクチン接種との因果関係の有無にかかわらず、当該医療機関より報告された確定病名をそのまま記載していることに留意。

報告された症状の経過（転帰、受診状況）

（医師宛調査）

回復/軽快	7
未回復	3
死亡	0
悪化	0
その他	0
不明	0
未記入	0
合計	10

※1つの症例において複数の症状が報告された場合、症状の転帰は、①転帰「不明」のものがあった場合は「不明」、②「回復」と「未回復」の両方があった場合は「未回復」として計上した。

入院した1症例の症状・病名・検査・治療・転帰

(医師宛調査)

年齢・性別	症状	病名1	病名2	病名3	病名4	疾患名	検査・治療内容	転帰
17歳・女性	倦怠感、頭痛、吐気・嘔吐	COVID-19ワクチン接種副反応					輸液（ラクテックG）	回復

医師からの調査報告のまとめ

(医師宛調査)

- 報告のあった症例の大部分は疑義照会中であり、報告症例が少ない点に留意する必要があるが、明らかな性差や年齢の偏りを認めなかった。
- 接種回数としては、前回と異なり、初回接種者はおらず、追加接種者が全体の9割であった。
- 初診症例は2023年1月以降には認めず、全ての症例は担当医から紹介を受けた最初の紹介患者であった。
- 接種から症状の発現までの期間は、前回の報告同様にほとんどが1週間以内であり、その多くは頭痛、倦怠感、関節痛などの一般的症状であったが、5週間以内に症状が改善している割合は3割と低かった。
- 転帰の確認できた症例のうち、未回復と評価されたのは、3例の関節痛の症例のみであった。
- 実施された検査によって、明らかな異常所見は認めなかった。

※ 本調査は、全国の都道府県において、自治体やかかりつけ医等の紹介により、新型コロナワクチン接種後に副反応を疑う症状を専門的見地から診療する専門的医療機関に対して、「新型コロナワクチン接種後の遷延する症状に関する追加・追跡調査」として行っており、症状と接種との因果関係は評価できない点に留意が必要。

資料内容

1. 今回の実態調査の概要等について
2. 事務的調査票（地域医療連携室宛）の結果について
3. 医学的調査票（医師宛）の結果について
 - 全体の状況（症例数、症例背景）について
 - 症状について
 - 主な症状について
 - 接種後から症状が出現又は悪化するまでの期間について
 - 症状の持続期間について
 - 検査内容、治療内容、病名、転帰について
4. 今回の実態調査の総括
5. 参考資料

総括

1. 本調査は昨年度実施した調査期間後の追加調査であり、期間の経過とともに受診患者数は減少傾向を認めた（調査期間が異なることから、接種者数及び接種年齢が前回調査と異なる可能性がある）。
2. 今回報告された症状、確定病名、および疑い病名の一覧からは、新たに懸念を要するような特定の症状や疾病の報告の集中はみられなかった。
3. 頭痛、倦怠感、食思不振、しびれ、息切れなどの多様な症状が遷延したものの、関節痛を認めた3例を除いた7症例では、最終的には症状の改善を認めた。
4. 入院などを要する、重篤な有害事象を呈する疾患は倦怠感、頭痛、吐き気、嘔吐を主訴とした1例のみに認めるも改善し、症例全体において、実施された検査結果に明らかな異常は指摘されなかった。
5. 疑義照会を行っている症例が多く、今後の報告を併せて評価を行う必要がある。

※本調査の性質上、症状とワクチン接種の間の因果関係を検証することはできないことに留意を要する。

(注) 2024年10月10日までに得られた本調査結果（疑義照会のある調査結果を除く）を第一報として報告するものであり、2024年10月11日以降に得られた本調査結果は含まれていない。

資料内容

1. 今回の実態調査の概要等について
2. 事務的調査票（地域医療連携室宛）の結果について
3. 医学的調査票（医師宛）の結果について
 - 全体の状況（症例数、症例背景）について
 - 症状について
 - 主な症状について
 - 接種後から症状が出現又は悪化するまでの期間について
 - 症状の持続期間について
 - 検査内容、治療内容、病名、転帰について
4. 今回の実態調査の総括
5. 参考資料

(参考資料)

(地域連携室宛調査)

初診日から直近の受診日までの入院の有無

入院の有無	症例数	割合
有	2	2.9%
無	35	50.0%
未回答	33	47.1%
合計	70	100.0%

※上記の入院等の情報は、当該施設の「新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応を疑う患者の紹介に対応する窓口」に紹介があり、令和4年(2022年)6月1日から令和6年(2024年)5月31日までに受診した全患者をリストとし、本調査票の記載日時点までにおいて、当該事例の入院の有無やその病名について事務的に回答を求めたものを集計したものであり、ワクチンと無関係な入院等を含みうることに留意。

(参考資料) 当該症状に係る初診日から直近の受診日までの全病名

(地域連携室宛調査)

ICD-10コード	症例数	病名 (内訳症例数)
T881	5	予防接種副反応
G629	4	末梢神経障害
U12	4	COVID-19ワクチン接種副反応 (3)、 コロナウイルス感染症2019ワクチン 接種副反応 (1)
M750	3	肩関節周囲炎 (2)、左肩関節周囲炎 (1)
R42	3	めまい (1)、めまい症 (1)、めまい 感 (1)
M8900	2	複合性局所疼痛症候群
R509	2	発熱
R53	2	倦怠感 (1)、全身倦怠感 (1)
U071	2	COVID-19 (1)、COVID-19感染症 (1)
A099	1	下痢症
D381	1	肺腫瘍
D509	1	鉄欠乏性貧血
F329	1	うつ
G040	1	急性散在性脳脊髄炎 (ADE)
G408	1	症候性てんかん
G439	1	片頭痛
G98	1	神経障害性疼痛
H81.1	1	良性発作性頭位変換めまい症
I493	1	心室期外収縮
I633	1	アテローム血栓性脳梗塞
K700	1	アルコール性脂肪肝

ICD-10コード	症例数	病名 (内訳症例数)
L049	1	急性リンパ節炎
L500	1	アレルギー性蕁麻疹
L659	1	脱毛症
M0690	1	関節リウマチ
M25.5	1	多発関節痛
M2551	1	肩関節痛症
M7919	1	上肢筋肉痛
M7962	1	上腕痛
R002	1	動悸
R208	1	下肢しびれ
R432	1	味覚障害
R529	1	全身痛の疑い
R630	1	食欲不振
S460	1	左肩腱板不全断裂
T78.2	1	アナフィラキシー
U09	1	COVID-19後遺症

※上記の病名等の情報は、当該施設の「新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応を疑う患者の紹介に対応する窓口」に紹介があり、令和4年(2022年)6月1日から令和6年(2024年)5月31日までに受診した全患者をリストとし、本調査票の記載日時点までにおいて有効であった当該事例の病名(疑い病名は除く)について事務的に回答を求めたものを集計したものであり、ワクチンと無関係な病名を含みうることに留意。

当該症状の日常生活等への影響

影響あり	10人	100.0%
影響なし	0人	0.0%
不明	0人	0.0%
未回答	0人	0.0%
合計	10人	100.0%